

No.3

ぼらりす広報部  
(学校運営協議会)

# ぽ☆ら☆り☆す通信

地域の力を合わせて みんなで育てるより良い学校



## 保護者代表(PTA)とぽ☆ら☆り☆すの連携を模索しています

ぽ☆ら☆り☆すは、地域や保護者の要望・意見を学校運営に反映させるなど、学校と地域住民がチカラを合わせた、地域との連携・協働による「地域とともにある、特色ある学校(コミュニティ・スクール)づくり(文部科学省推奨)」を目的とし、年に複数回、学校や児童生徒の保護者代表であるPTA、地域住民やボランティアの皆様と会議を行っています。

今年度第3回目の活動として、3校のPTA役員の皆様をお招きし、それぞれの活動の現状や課題について共有しました。そして、お互いの活動を、より発展させるための話し合いを実施しました。



文部科学省HP  
コミュニティ・スクール



会議の様子から

### PTAの問題点

- ・ コロナ禍を経た後で、活動自体が少なく、充実した活動となっていない。
- ・ 時間的な制約により、活動に参加協力したくても、できない方がいる。
- ・ 子どもが減少する中で、役員選出も難しくなっている。

### コミュニティ・スクールの問題点

- ぽ☆ら☆り☆すの課題  
意義や内容、目指す子ども像等の共有のために、地域の皆様への、わかりやすい広報活動が必要。
- トライアングル(地域学校協働活動)の課題  
学校ニーズによるボランティアの確保。

## お互いの課題を補完し合い、活動をより発展させるための方法や形は？

- ・ メールや映像などのツールを活用し、活動の内容を分かりやすく可視化する。
- ・ 児童生徒の問題を地域の問題として共に考え、行動する。  
(今年度は、いじめ問題解決に向けた教育懇談会をPTAと共催します)
- ・ イベントに参加しなくても、普段から児童生徒のために協力できる活動に参加する。  
→登下校時の安全管理、輪番制で保護者の皆様にも廻ってくる旗振りなども、児童生徒を見守って頂いている活動の一つです。

地域みんなの力で  
子供たちの未来を拓く



~文部科学省HP「学校と地域でつくる学びの未来」より~

## 大切なことは何か？

- ・ これまで子供を通じた活動(PTA、環境整備、読み聞かせ、図書ボランティアなど)を行うことで、現在の人間関係を築くことができた。今後も私たちが暮らす地域の将来に繋がっていきと考えている。
- ・ 「地域を引継ぎ、地域の未来を託せる人材の育成を目指す」人口減少が進み、地域の発展が停滞したり、文化や継承が途絶えてしまうことが課題である。地域に暮らす方々が、学校の先生やPTA、保護者とチカラを合わせ、これからの地域を引継ぎ、地域に根付く人材(児童・生徒)を育成することが大切である。

「2050年 消滅可能性自治体 → 藤岡市も2024年4月にエントリーされています」

Hi! 「コミュ」と申します。 - No. 18 -



コミュのいる藤岡市も「2050年 消滅可能性自治体」に指定されてるんだって！それって何だろう？2050年までにあることが起こる自治体だよ！いつもの3択どれだか分かるかな？

① 隕石が降る可能性がある、②20-39歳の女性人口が50%以上減少する、③消滅を宣言する、 答え②

出産する年代の女性(20-39歳)が減ると自治体の人口が減ってってしまうんだあ…。誰もが住みたくなくなるような魅力的な藤岡を作らないといけないんだね！2050年にはみんなは何歳になってる？

